

# 遺跡発掘調査現地見学会が開催されました

## 近世から現代の生活を垣間見ることができる遺物 約6200点



2月17日 発掘調査現地説明会の様子 近年にない大雪にもかかわらずたくさんの方が集まってくれました



表土から深さ約2mまで発掘調査されました



発掘された遺物は丁寧に手洗いされます

興事業団により松江城下町遺跡の発掘調査を行っています。昨年より調査が行われてきた裁判所前庭では、2月17日に発掘調査現地説明会が開催されました。

裁判所前庭は、江戸時代の絵図などから武家屋敷であったことが判っています。(裏面参照) 約4ヶ月にわたる調査により、江戸初期から明治までの陶磁器片をはじめとする遺物約6200点が発掘されました。遺物の多くは19世紀前半のもので、遺構としては幕末から明治にかけて作られたと思われる井戸の跡も発見されました。

これら先人の生活を窺い知ることができ、遺物のうち貴重なものは、松江市建設の歴史資料館に展示される予定です。

# 大手前通りみちだより



発行所

松江県土整備事務所  
TEL0852(32)5755

松江市役所都市計画部  
都市計画課  
TEL0852(55)5380



大手前通り沿線では、道路拡幅にともない、松江市教育委員会・財団法人松江市教育文化振

# 遺物から垣間見える当時の人の生活



## 昭和の遺物

昭和初期(S18~)の非常食用缶詰の代用の容器「防衛食大日本防空食糧株式会社」と書いてある。



## 焼継された磁器類

割れても修理して使われていた。

裏には修理をした工人の名前を入れる。

※焼継とは、割れた磁器を接着する技法



## サザエやアワビの貝殻 食生活がうかがえる？

ゴミ穴と思われる箇所からは、陶磁器や木製品・鉄製品以外にもサザエやアワビなどの食用の貝殻や魚の骨などの食料の残骸と思われるものも多数発掘された。



今回の調査により、多くの遺物が発見されましたがその多くが陶磁器や木製品・鉄製品などの生活用品でした。発見された磁器の中には焼継といわれる技法による修理の跡がみられます。当時の人が壊れても修理した物が大切に使用していたことがうかがえます。

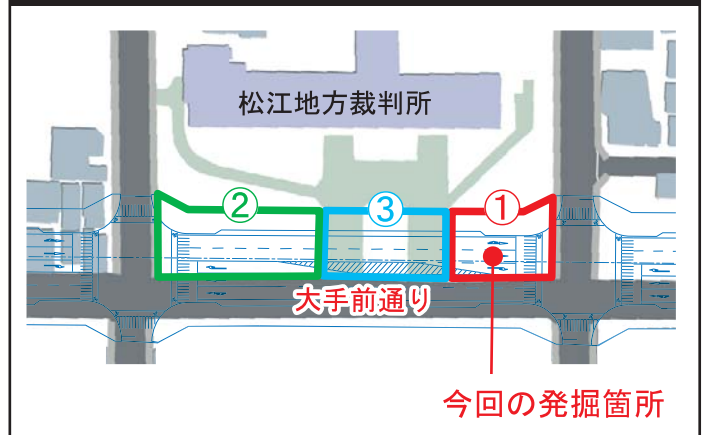
## 第15回しまね景観賞に入賞しました。

民間建築部門

蔵々(殿町)



裁判所敷地内は3回に分けて発掘調査を行います。



● 用地補償に関するお問い合わせ  
松江県土整備事務所 用地第3グループ  
TEL0852(32)5692

● 設計工事に関するお問い合わせ  
松江県土整備事務所 都市整備グループ  
TEL0852(32)5755

● まちづくりに関するお問い合わせ  
松江市役所 都市計画部 都市計画課  
TEL0852(55)5380

## 編集スタッフより



“大手前通りみちだより”に関するご意見をお寄せください。  
みなさまに喜んでお読みいただける紙面づくりを心がけています。  
だよりは、インターネットでもご覧いただけます。